



先般、1月26日の津市議会議員選挙で、市民のみなさまから負託された議員36名(うち新人6名)が議場に勢ぞろいし、市長はじめ市幹部、教育委員と対面し、平成26年度第1回議会が開催されました。

私は、年度始めの議会質問のトップバッターに立ち、審議の内容が、多くの市民から関心を集め、市民生活に多大な影響を及ぼすものであるとの認識をもって審議に入りました。私が行った質問を中心に、報告致します。

前業市長の施政方針を問う

前業市長の任期が最終年へ入ることから、市長の持論の「風格ある県都・津市」の活力を創造するとの理念がどのように構築されているかについて施政方針を縦断的に俯瞰し、

- ① 施政方針策定の市長の理念
- ② 市長が掲げる「津市の将来ビジョン」との整合性
- ③ 就任当初掲げた政治目標が達成できたかなど相互に関連を取りながら、市長の考えを質しました。

また、前年度比4.9%増の1.112億円の予算につき、国や県と歩調を合わせた地域経済力の維持への期待と方策について質しました。

市長が、通常の自席からの答弁に変え、壇上に上がって自説を述べられたことを付言します。

教育委員会の教育方針を問う

新年度の教育方針から

- ① 従来の「ゆとり教育」から、「基礎・基本を身につける」教育への目指す方向の転換
- ② 「地域の方々の協力を得ながら」との理念と方策
- ③ 学校長の予算執行権と人事権

などについて、教育委員長の見解を質しました。また、今年度の教育方針の冒頭に、「基礎・基本を身につける」とあり、大学生になっても算数の九九が出来ない者や当用漢字を書けない者もいるとの報道も有り、かつて、中央教育審議会が、長い間、「ゆとり教育」を指向して来たことから、ここで育った先生方が、どのように生徒に対して行くか、学校長がどのように先生方を指導して行くかなどを、「地域の人達の協力を得ながら」の双方向性、或いは、学校長の権限との関連と合わせて議論しました。



芸濃町 石山観音

私は、5期14年の議員経験をベースに、みなさんと行政の掛け橋となって、みなさんと一緒に「協働型社会」の仕組みを作って行くことを理念に、「津市マスタープラン」のローリングを念頭に、本会議や各委員会などを通して行動して参ります。また、行財政改革にも積極的に取り組んでいきます。

平成26年3月議会の質問要旨(抜粋)

1 津市のバイオマス産業都市構想

森林資源を活用する木質バイオマスは、近年、改めて注目を集めるようになってきました。CO₂削減による環境負荷軽減は勿論のこと、地域経済への貢献も期待されています。

津市バイオマス産業都市構想につき、

- ① 津市における構想への取り組み
- ② 津市にとって期待される効果、について質しました。

2 津市のインフラ整備

日本経済の高度成長期に、あまた建設されてきたインフラ設備が老朽劣化していることは衆知の事柄であり、対策は、国や地方公共団体にとって緊急を要するものと成っています。また、インフラ設備の更改には多大な経費がかかり、国や県と歩調を合わせ無駄や重複を排除して取組むことが必要です。前年度、津市は、国から交付された公共施設整備積立などを充てましたが、十分な財源確保が出来ませんでした。

そこで、今年度、津市では、

- ① インフラ設備の老朽化対策に、どのように緊急性を認識して対応しているか。
 - ② 老朽化対策費をどのくらい見込んでいるか。
- など具体的な工事内容などについて質しました。

3 津市の職員定数条例

昨年6月の津市職員定数条例の改定で、教育委員会事務局や健康福祉部、建築指導課、その他で、従来担当して来た業務に加えて新たな業務が加わっており、これらの部署では、業務量の増加を伴うことが予想されますが、

- ① 事務職員の人数を増やすと、どこかの職種の人数を削減することに成ります。
- ② 新規事業、又は、国や県から権限移譲が有った際には、職種間で配置人数を取り合い、業務の遂行に困難が伴うのではないだろうか。

当局の対応策を質しました。



美杉町大洞山

断捨離

* 高齢化社会となって久しく、身近にお年寄り世帯が増えていきます。
 * 子育てに追われた日、タンスや本箱、衣類…多く家の中を占めていた物も、子供達が家を離れると、役目を終え使われなく成りました。
 * 不要なものを捨てる…これが、「断捨離」のコツだそうですが、捨てずに整理し保存する方も多いと言われています。
 * 津市の業務改革は、どうでしょうか。合併や市民ニーズの変化、或いは、中央行政の指導方針の変遷によって、市職員が行う日常業務に、ダブリや不要なものが残されていないでしょうか。
 * 本庁と総合支所、また、支所出張所で、市民サービスや作業に重なりはないでしょうか。また、三重県と津市が所掌する業務の重複部分は、どう考えたら良いでしょうか。
 * コンピューターや通信技術の進展が、民間企業の組織改革や業務改革に寄与して久しいと言われていますが…